

令和6年5月10日開催 学生向けシンポジウム「北海道のGXと経済をつなぐ未来とは」 質問及び回答一覧

No	質問の内容	回答者	回答
1	GXというキーワードはいつ頃から、国内や世界で使われるようになったのでしょうか？	Team Sapporo-Hokkaido	日本では、2020年10月に政府が「2050年カーボンニュートラル」を宣言して以降、「グリーン成長戦略」や「第6次エネルギー基本計画」が策定された2021年頃から使用されています。 なお、「trans」という接頭辞には「超える・横切る」という意味を含み、これは「cross」(交差する)と同義であることから、「X」で略す慣習があるため、グリーントランスフォーメーションは「GX」と表現されています。
2	北海道の40兆円の中に食料や農林水産が入ってないのはなぜなのでしょう？		北海道は、国内随一の再生可能エネルギーのポテンシャルを有しており、特に強い風が安定して吹き、潜在力も大きい「洋上風力」などをより一層活用し、これに関連する取組を中心に、GXに関する投資を呼び込みたいと考えています。 なお、国が策定した「GX実現に向けた基本方針」では、食料・農林水産業も含めた記載となっており、これを踏まえた取組についても、引き続き進めていきたいと考えています。
3	GはグリーンならXはなんですか		Transformationの接頭辞である「Trans」には「超える・横切る」という意味を含み、これは「cross」(交差する)と同義であることから、「X」で略す慣習があるため、グリーントランスフォーメーションは「GX」と表現されています。
4	アジア最大の金融センターを目指す理由を教えてください		Team Sapporo-Hokkaidoは、北海道が持つ国内随一の再生可能エネルギーのポテンシャルを最大限に活用し、GX産業の集積取り組んでいます。多くの投資を必要とするGX産業の集積には、資産運用会社等の金融機能の強化集積を両輪で進めていくことが不可欠であり、世界中からGXに関する資金・人材・情報が集積する、アジア・世界の金融センターを実現するための取組を進めていきたいと考えています。
5	いわば「環境人材」を目指したいと思っています。何をするのが良いのでしょうか？	環境省北海道地方環境事務所	ご質問の「環境人材」につきまして、「環境に配慮した行動を促せる者」として、お答えいたします。 環境配慮の取組とはなにか、それを知ることが第一歩です。まずは「環境白書」を読んでみてください。 (https://www.env.go.jp/policy/hakusyo/index.html 『環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書』) 自宅で使う電気を再生可能エネルギーに切り替えること、大量のゴミを出さないこと、希少な野生生物を守ること等、様々な環境配慮の取組があります。 そして、自分が関わりたい環境配慮について、その分野の勉強をすること、イベントやボランティア等に参加し、技術・経験を身につけることを試みてはいかがでしょうか。
8	北海道にはGXのポテンシャルがあると仰っていました。しかし、こうしたポテンシャルは現在に限らず、昔(20-30年前)からあったように思います。そこで質問ですが、こうしたポテンシャルを昔は活かせなかったのはどうしてでしょうか？今、ポテンシャルをいかしてGXを推進するには昔を振りかえってみる必要があると思ひ、質問しました。	北海道庁	北海道は国内随一の再エネポテンシャルを有していますが、その再エネの普及が進まなかったのは”導入のコストが高い”ということが一番の理由だと考えています。 これを解消するため、2012年には、再エネ電力を電力会社(国民が経費の一部を負担)が固定価格で買い取る「再生可能エネルギーの固定価格買取制度(FIT(フィット))」が開始され、再エネ発電事業者が安定した売電収入を見込めるようになり、太陽光発電をはじめとした再エネ発電が普及されてきたところです。 このような中、地球温暖化対策が急務であった2015年に、パリで温室効果ガス削減に関する国際的取り決めが合意され(いわゆる、「パリ協定」)、脱炭素化が世界的な潮流となり、さらに、近年は、ロシアによるウクライナ侵攻をきっかけとしたエネルギー価格の高騰などがあり、化石燃料中心の社会から再エネ中心の社会へ転換させる必要性が高まり、2023年2月に国では「GX実現に向けた基本方針」が取りまとめられました。 このように国として、脱炭素社会の実現とエネルギー需給構造の転換を最重要課題として位置づけたこともあり、ようやく北海道が有する再エネポテンシャルを活かせる情勢になったのではないかと考えております。 もちろん、その間の技術開発やIT技術の進歩により、導入コストが低くなったことも要因のひとつです。
9	北海道のGXを推進する上で重要となってくる人物像や年齢層などありますか？また、今後意見を取り入れるべき層はありますか？私は若者の意見が足りていない、届いていないと思います		GXの推進は人物像や年齢層に囚われるものではなく、大げさに言えば、全世界の全ての人々が自分事として関わるべきことと考えますが、その中でも特に、これから長年にわたり地球温暖化の影響を受ける、そして、未来を作っていく若年層の方のご意見は積極的に伺っていきたくと考えております。
10	北海道は国有林が多く森づくりをしてco2を抑える取り組みがやりやすいと思いますが、ここに力を入れる感じはないのでしょうか？		北海道は面積の約7割を森林が占めており(国有林55%、道有林11%、私有林等34%)、全国一豊かな森林資源に恵まれていることや、伐採後の植林の割合が全国に比べて高く、持続的な森林づくりや木材生産が可能といった優位性があります。道では、こうした優位性を活かし、減少が見込まれている森林吸収量の維持・増加を図るため、成長力が高い活力ある森林の整備や、幅広い分野における道産木材の利用の一層の促進、道民や企業等と連携した森林づくりの促進などの対策を重点的に進め、森林吸収源対策の充実・強化を図るとともに、国有林を管理する北海道森林管理局と緊密な連携を図り、互いに協力して森林づくりを進めることとしております。 また、道有林の森林整備によるCO2の吸収量を、「J-クレジット」として、販売する事業を行っています。 ※ J-クレジット制度とは、森林整備などで増加したCO2吸収量を、「J-クレジット」として販売することができ、削減努力をしてもどうしても発生するCO2がある企業等が、J-クレジットを購入することで、それを埋め合わせ(=カーボン・オフセット)することができるものです。

令和6年5月10日開催 学生向けシンポジウム「北海道のGXと経済をつなぐ未来とは」 質問及び回答一覧

No	質問の内容	回答者	回答
11	系統制約解消のための海底送電線に2兆円の投資が見込まれるというお話でしたが、これを行う企業はどのように決めるのでしょうか？入札を行う場合は道外の大規模企業が受注し、道内にそれほどお金が回らないのではないかと思ったのですがどうでしょうか。	北海道庁	事業実施主体は、入札で決められるのが原則であることから、北海道内の企業が落札するとは限りません。その場合、道外にお金が行ってしまう可能性があります。 しかしながら、道外企業が落札したとしても、道内企業がその企業との取引を増やすことによって、道内にお金を留まらせることができます。再生可能エネルギーの導入、例えば、洋上風力発電施設を道沿岸地域に導入する場合、風車本体は道外企業が製造したものだとしても、工事ヤード(資材や部品を置く場所)は道内の港を利用することになりますし、工事に必要な資材や部品の購入やそれらの輸送、工事関係者の生活を支える小売・宿泊、整備後のメンテナンスまで、建築時に地元が得られる経済効果(一時的なもの)に加えて、設置後においても、施設の維持管理により得られる経済効果(継続的なもの)があると考えます。 つまり、事業に、いかに多くの道内企業を参入(道外企業との取引を増やす)させることができるかが、道内にお金を留まらせることに繋がります。(一般的に「サプライチェーンの構築」といわれます)
12	今札幌を中心に北海道のGXを進めて行くというお話でしたが、GX化のその先の目標はあったりするのでしょうか。		道では「2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロ(=ゼロカーボン)」を目標としています。 まずは、この目標達成に向け、さまざまな取組のひとつとして、GX推進に取り組んで参ります。
13	北海道GXの8つの要素の中でも今1番注目度のあるものと、これからどんどん目をつけていきたい要素あれば教えてください。		今一番の注目事業は、洋上風力発電です。洋上風力発電は、再エネの切り札と呼ばれており、陸上では設置できないとても大きな風車を、海の上に設置することにより大量の電力を発電することが可能です。道内では、主に日本海側で多くの計画が検討されており、石狩湾新港では、今年1月から道内初の商業運転を開始しているほか、複数の地域で地元自治体や漁業協同組合などと風車の建設について協議を行っている。 なお、国の洋上風力発電の目標は45ギガワットですが、そのうち北海道は15ギガワット、約1/3を期待されています。この15ギガワットというのは、電力量で試算すると、道内で使用する電力の1.5倍に相当するものです。近い将来、北海道での発電の中心は、この洋上風力になるかもしれません。 次の注目は水素です。水素は酸素と結びつけることで発電したり、燃焼させて熱エネルギーとして使用することが可能です。また、様々な資源から水素を作り出すことができること、使用時に二酸化炭素が発生しないことから、次世代エネルギーとして注目されています。道内では、水素の活用に関する調査・実証事業が多く行われており、これからのエネルギー源として大きな期待を集めています。
14	石狩の風力発電についての質問です。なぜ、一定の電力を発電したら風力発電を止めるのですか？背景、理由など詳しく聞きたいです。		【風力発電を止めるのには、いくつかの理由が考えられます】 ① 風力発電は、風の力を利用して風車を回し、風車の回転運動を発電機を通じて電気に変換する発電方法です。風が強くと風車の回転速度が上がりすぎる時は、安全のため回転を停止し、発電を止める仕組みになっています。 ② 石狩湾新港洋上風力発電所の場合、発電した電気は系統に流して売電(系統に流せる電気の量には上限があります※④参照)し、余った電気は併設の蓄電施設に貯めておき、風車出力が足りない場合には放電して補っていますが、道内系統及び電力需給事情から蓄電してもなお、発電した電気を貯めきれない場合は、発電を止めて風車出力を抑制することとなります。なお、こうした余剰電力を水素製造に活用する検討が行われています。 ③ 電力の需給バランスを保つための出力制御。出力制御とは、一般送配電事業者(発電所で生み出した電力を消費者に届ける役目を担う事業者)の指示により発電事業者が風力発電所などの出力を抑制することです。出力制御は、太陽光発電や風力発電などによる発電量が、各エリアの電力需要に比べて多くなり過ぎるときに実施されます。電力の需要と供給は常に一致していなければならないので、このバランスが崩れると交流周波数が乱れ、停電に至る恐れがあります。出力制御は国が決めた「優先給電ルール」に基づき行われ、太陽光発電や風力発電の出力制御は、火力発電やバイオマス発電の抑制でも需給調整が難しいときに行われます。 ④ 送電線・変圧器に流すことのできる電気の量には上限があり、これを超過して電源を接続した場合には、日々の運用において上限を超えるおそれがある時に電源の出力制御が必要になります。これを「送電容量制約による出力制御」といいます。
15	北海道がGX投資の拠点となることについて、学校(北海道大学)が持つ役割を教えてください。札幌市、北海道の経済活動が活発化することが北大の到達目標なのではないでしょうか。大学が参画する意味を教えてください。	石井 一英 様	北海道大学が掲げる2030年のビジョンであるHU VISION 2030 (https://www.hokudai.ac.jp/introduction/plan/huvision2030/)では、「科学技術における教育・研究の卓越性 "Excellence"と、教育・研究を社会に広げ地域課題を解決する社会展開力 "Extension"の2つの要素からなると考えています。」とあるように、大学が生み出すイノベーションを、地域課題の解決に活かしていき、最終的には地域だけではなく、日本、世界において持続可能なwell-being社会の実現を達成することを北大のミッションとしています。GXは、世界的な課題であると同時に、地域の問題でもあります。各地域が抱える社会・経済・環境の課題を、GXの推進を通して解決し、それを世界中に広げていく活動が望まれています。特に、再エネポテンシャルが極めて高い北海道発のGX推進ノウハウを世界に発信することは極めて重要であり、そこに北海道大学が大きく貢献することが望まれています。

令和6年5月10日開催 学生向けシンポジウム「北海道のGXと経済をつなぐ未来とは」 質問及び回答一覧

No	質問の内容	回答者	回答
16	私は文学部の学生ですが、文学部で学んだことはGXに貢献することかできるのでしょうか？	石井 一英 様	もちろんGXに役に立ちます。環境と人間の関係性については、哲学・文化学、歴史学・人類学の知識が必要です。例えば、欧米では自然と人間の関係は上下関係にあります、アジア圏は人間は自然に含まれていると考えられています。世界的には、自然の中に人間がいるという考え方が主流になってきています。それから、GXを進めるに当たっては多様な価値観を人々や団体のコミュニケーションが重要となりますので、言語・文学も必要となります。さらに、GXを推進する前提条件として、人々の行動変容が極めて重要であると言われており、心理学や社会学といった人間科学の分野も必要とされています。
		金留 正人 様	文学部出身でも、多く貢献出来ると思います。 例えば、広報やマーケティング、海外企業や投資家向けのアピールなどを起点に貢献できる場があるはずで。 GXの直接的な実装は私のプレゼンテーションにもあった、政策・金融・技術が中心にはなりますが、長期にわたる取組になることを考えると、参加してもらったあなたをはじめ、幅広い人々に取組を認知してもらい、GXに能動的に関与してもらえようような仕組みと言いますか、活動を並行して進めていくことも、実装と同じくらい重要です。是非、あなたの専門性と興味を軸に、検討してみてください。 (ちなみに、私の妻は文学部出身です。シンポジウムの後自宅に帰って妻に「今もし学生の立場だったらどう考える？」って聞いてみました(文学部と言っても幅広い専攻があるようですね。あなたの専攻分野が活かそうですか?)。そしたら上記のような広報だったり、海外との接続点になるような貢献ができるんじゃない？とっていました)
17	世界のビジネスマンから見た日本人の強みには誠実さがあると思うのですが、金留さんはどうお考えですか？	金留 正人 様	「誠実：私利私欲を捨て、真心を持って物事にあたること」(国語辞典) 誠実さ、いいですね。仰る通り、日本人の強みだと思います。 ご質問を受け、海外のメンバーに同じ質問をしてみました。以下のような回答をくれました。 Many British people would think that the Japanese are more hard working and more dedicated to their company/employer ある意味、(会社に対する)誠実さなのでしょうか。 質問者さんは、上記の他具体的には、誠実さというのが社会全体の中でどのような形で現れると思いますかね(学生として、社会人として、一人の個人として)。 誠実さは、日本人気質として素晴らしいと思う一方で、もっと社会(ビジネス)では貪欲になっても良いと思います(私利私欲を持って、真心を持つな、と言っているわけではありません)。 海外の方の日本人の印象は、日本人はいつもニコニコ笑顔で他人に親切で、しかし、裏では(黙って)凄いことをやってのける民族だと思われるような気がします。 ある意味、日本人の笑顔には騙されないぞ、日本人はいつかすごいことを突然やってくるので気を付けろ、と思っているのかも知れません(笑)。 というもあり、海外の人は日本人が何を考えているのか知りたがるのです。私は英語が苦手なので言いたくも言えないのですが・・・(私は、ニコニコして誤魔化しているだけです)。 是非自分の考えを言語化し、世界のビジネスマンとやり合うことに挑戦してみてください！
18	欧米の考え方を取り入れるというお話がありましたが、逆に日本人の文化として高く評価される要素は何かありますか？		ご質問ありがとうございます。この手の質問は、直接欧米の方に聞く方が良いと思い、早速、ヨーロッパチームの大学関係者に聞いてみました。欧米の一般的な意見では無く、イギリスの/個人の意見として受け止めてほしいという前提で回答しますね(一部、No.17の回答とも重複します) ・高い技術力を有するビジネス： I think British people have tended to think of Japan as a place of successful high technology business. ・一生懸命働き、会社や従業員に対し献身的である(No.15の誠実さとも関連する?)： Many British people would think that the Japanese are more hard working and more dedicated to their company/employer. ・地域密着型で海外でも活躍している： For instance in the Manchester region, (日本のS社) the electronics company, used to be an important company having its European headquarters here for many years. (日本のF社) is another company who is a major employer in Manchester and the UK more broadly. ・日本文化が広く知られている： Of course many British people are aware of Japanese cultural exports like animation and comic books. (最後に、個人的な感想として?) Japanese food is popular!

令和6年5月10日開催 学生向けシンポジウム「北海道のGXと経済をつなぐ未来とは」 質問及び回答一覧

No	質問の内容	回答者	回答
19	文理融合のゼネラリストとして生きるイギリスの方のご紹介があり、その生き方に憧れます。個人的には、政策、金融、技術の全てに興味があり、専門性を決めきれずにいる部分もあります。ゼネラリストに期待することは何ですか？		<p>私も同感です。 私の学生時代には、ゼネラリストという選択肢が身近には無かった(あまり一般的では無かった)気がします。なんとなく、文系、理系で整理されていた気がします。今はどうでしょうね。</p> <p>さて、ご質問の件ですが、イギリスの方に具体的に聞いてみました！ I suppose the advantage of the generalist is that they may be more likely to be open to and able to learn about new topics and new methods. (ジェネラリストにとっての強みだと思うのは、新しいトピックスや新しい手法に対して、オープンであろうとしている点じゃないかと思うよ)</p> <p>私は、イギリスの方(Nikiさん)は、ジェネラリストとして彼女が取り組もうとしている新しいビジネスの専門家達を引き寄せ、彼らから有用な情報を仕入れてサービスを創り出すことが上手だと思っています。私はジェネラリスト全般について多くを知っているわけではありませんが、Nikiさんみたいな方がいると自分の専門分野が異なる分野と融合して新しい価値を創造できるかも、のようなワクワク感があります。</p>
20	GXを促進するうえでESG投資が一役買っていると思うのですが、アメリカなどで反ESG運動が起こっていると聞きますが国際社会への影響はないのでしょうか？	金留 正人 様	<p>良いご質問ですね。 実は、反ESGはアメリカだけではなく。 日本だってヨーロッパだって、公に声を上げる上げない、程度問題は在れ、反ESGはあります。 あなた、そして私たちは、アメリカ(の一部?)が反対している本当の理由を知っているでしょうか？</p> <p>これらの反ESGが国際社会への影響がないとは言いませんが、もしその解決策を私たちが見出したら、すごいことになりますよ。 (ちなみに、アメリカでは、日本では見たことの無いような規模で再エネがバンバン建ってますし、例えば水素関係でも、まさかと思うような色んなアイデアでどんどん研究や実装が進められている事実もお伝え致します)</p> <p>これからあなたが社会で何か新しいことをしようとすると、内部/外部問わず、ほとんどの場合、反対意見があります(逆に反対意見が無い方が怖いと思ってください)。 私のプレゼンにもありましたが、私たち自身が(極力客観的な事実に基づいて)あるべき社会を言語化し、受容することが重要です。反対意見はヒントかも知れません。</p> <p>質問への回答に戻ります。 反ESGは事実として”is”で存在はしますが、反ESGは果たして”ought to be”なのでしょうか。あなた自身も考えてみてください。</p>
21	グローバル視点で活躍するには何が肝要ですか？		<p>金留個人の経験に基づくポイントで恐縮ですが、私なりに以下3つがあると思っています。</p> <p>① 一に言語化。二に言語化、三に言語化。 特に、海外の方と仕事をする場合は(・最近の日本のビジネスでもそうかもしれませんが)、文化や経験、時には年齢や性別によって、本質的に同じことをゴールとしていても、表現やアプローチに違いが有ることが多いです。仕事は皆で同じ方向を向かないといけないので、進め方に認識違いが生じないように、瞬時に言語化し、共通の表現・アプローチに整理(必要な場合には図式化して説明)する能力を高めることが重要です。</p> <p>②専門/得意分野(メイン分野)と、それ以外(極力、メイン分野とは対局側にありそうな)複数のサブ分野へのチャレンジ(シンポジウムで紹介したマンチェスター大学のScience Greats的に近い考え方)。 例えばですが、工学と金融学、法学と物理学など。そうすることで、専門分野を社会で活かそうとした時に、何がボトルネック(進められない要因)が見えたりします。 あなたの専門分野/得意分野の対局にある分野は何だと思いますか？是非考えてみてください。 ※もちろん、特定分野のスゴイ専門家としての能力があり、かつ、その分野で活躍したい場合には、突き詰めたらよいと思いますが、その場合には専門/得意分野+コミュニケーション能力が良いかもしれませんね(笑顔と語学くらい?)</p> <p>③前例・前提に囚われない新しい意見や反対意見(自発、他発を問わず)の真の受容と、今をより良くするための行動(潜在課題の発見や、分野融合したイノベーション)。 先の質問とも関連しますが、日本のような単一民族、単一文化の要素が強いと、新しい意見や反対意見が、全体に飲み込まれてしまうような印象を受けます。同志ある仲間を見つけ、現在を否定してみることからはじめ、前例・前提に囚われない発想や行動を起こしてください！(私のプレゼンにもありましたが、norms&rules、つまり社会規範やルールは守ったうえで、ですよ!)。そのような発想は行動を起こしてくれるあなたと、将来仕事ができることを楽しみにお待ちしております。</p>

令和6年5月10日開催 学生向けシンポジウム「北海道のGXと経済をつなぐ未来とは」 質問及び回答一覧

No	質問の内容	回答者	回答
22	金留さんの講演から、欧米と日本の考え方の違いを学びました。金留さんは欧米の考え方を取り入れようといった旨のお話をされていたと思うのですが、逆に欧米では日本の考え方が重宝されていたりするのでしょうか。	金留 正人 様	日本人の考え方や取組み方が重宝される場面は、多くあります。 著名な研究者によると、私たち日本人には因果応報的な考え方(厳密には解釈が違いますが、“結果には必ず原因があるという考え方”)があり(染みついている?)、事実として問題や課題が生じた場合にはその原因を確実に仕留め、対策を打つことが出来る能力(文化かも知れません)が素晴らしいと言われています。実際、私もそう思っています。例えば海外から仕入れた技術、製品、考え方を、更に良いものにする能力といえますかね(自動車や半導体などがそうかもしれません)。 私のプレゼンテーションでお伝えしたかったのは、日本人のその能力や考え方に、さらに欧米人のようなイノベーション的な発想(新しいことを創造する、ゼロからイチを作る、前を向いて全力を尽くす)を加えて、それを北海道GXの推進に組み込むことで、世界に誇れるGX特区が北海道に作れるのでは無いかと思っています。 あなたの考え方は如何でしょうか?欧米よりですか?日本よりですか?
23	文系と理系の違いはなんですか?文学部でも心理学などは理系寄りの研究を行っていたりと、文理と言う分け方に疑問を持っています。		個人的な意見、かつ全てを網羅した回答では無く恐縮です。 敢えて違いを整理すると言えば、私の経験上、文系と理系では「解」に対する視点がやや異なるんじゃないかと思っています。具体的には、文系の「解」は”双方/関係者の合意形成(いわゆる、落としどころ、とか、現実解/最適解を見つける)”ところに重きが置かれ、理系の「解」は”不変の解の追及(世の中全員が納得せざるを得ない(というか否定できない)解)”だと思っています。あなたは どう思いますか? GXに関連した話をすると、不変の解をゴール(理系的な解→世の中全員の共通解、あるべき姿)を共有しつつも、途中プロセスはもしかしたら現実解/最適解(文系的な解)の連続かも知れないということを認識することでしょうか。そういう意味では、文系と理系が融合した対話と言いますか主張がかみ合うところを見出さないといけないし、そういうことが出来る人材が必要になってくるような気がしています。
24	石狩の風力発電について質問です。なぜ、一定の電力を発電したら風力発電を止めるのですか?背景、理由など詳しく聞きたいです。		石狩に限った話ではありませんが、風力発電の運転・停止には主に2つの要因、構造面の要因と、運転面の要因です。 構造面の要因としては、風力発電設備は、風向きや風の強さなど、風力発電が適切に機能(稼働)できる条件がありまして、その条件を満たさないと機器の故障や損傷に繋がるリスクが高まるため運転することができません。 もう一つの運転面の要因については、運転(発電)と言うのは風力発電の機器単体で管理するものではなくて、送配電網で接続されている発電全体(水力・風力・太陽光をはじめとする再エネや、火力、原子力等)で、必要な発電量と電力使用量を近いところで管理しないといけません。 一部の発電設備は種類や規模によっては、急な稼働や停止、出力調整が難しい場合があります(またはそれをする事で発電効率が悪くなる)、太陽光や風力などで調整する場合があります(風力は止まっていると分かりますが、太陽光や水力はわかり難いですよね)。もしかしたら、昼間に太陽光が多く発電している時には止まっている風力発電も、夜中にこっそり動いているかも知れませんよ。 いずれにせよ、理由にもよりますが、構造面の要因は今後の技術開発、運転面の要因の解決策として、実は北海道GXにもあるような蓄電池の設置や、水素製造等に電力を使うことによって再エネの利用範囲を広げることで、運転面の制約を緩和できる可能性があります。
25	学生でもできる活動はなにがありますか?	草野 竹史 様	はい、エゾロックでの活動はいろいろありますし、他の団体さんでも再エネ関係の活動はあります。 エゾロックの説明会に来ていただくか、エルプラザの環境プラザに相談してみるのはいかがでしょうか?
26	自分がGXに関わる、という姿を想像することが難しいのですが、今からでも何か出来るような事はありますか?		例えば、住む場所を真駒内駅周辺に変えてみるというアイデアがあります。真駒内駅や南区役所や、一部の団地などは、清掃工場の廃熱を利用した地域熱供給という全国的にも珍しい仕組みになっていて、住むだけで、化石燃料の消費を抑え省エネや脱炭素につながっている地域になります。家賃=自分への投資と考えると、住む場所を変えるだけで、まちづくりに関わったり、学べることがあります。このようなお金の使い方を考えてみてはいかがでしょうか。
27	環境を配慮したスタートアップであることが前提になってきているのは理解しています。ただ、GX分野をメイン事業となるようなスタートアップは、簡単に生まれるのでしょうか。大企業スピンアウトの方が確度が高そうな感じもします。	梁 哲治 様	スタートアップ創出に関しては、領域によりけりだと思います。また、そもそもGX分野をどう定義するかによっても回答が異なるかと思いますが、ここでは、便宜的に脱炭素関連のスタートアップとすると、そういった領域をメイン事業としたスタートアップは既に世界中に沢山存在しており、これからも増えて行くと考えられます。
28	アグリ分野でのGXは農協さんとの関わりが必ず出てきますが、うまくコミュニケーションを取るアイデアはありますか?		関係性の無い段階から、直接スタートアップだけで営業に行くには、一定のハードルがあります。ですので、スタートアップの事業上の関わりがあるor協業関係にある事業会社(農機・農業資材メーカー、大手食品会社など)さんと一緒に営業をするケースもあります。また、VCが親しくしているJA、全農関係者に対して、VCからスタートアップを紹介することもあります。